今月の資格講習のお知らせ

講習番号と講習名			日　程（開始9時～または8時30分～）	受講料	受講資格／対象	内　　容
作業主任者	1	木造建築物の組立て等	１／２４～２５（水木）技術研修センター（池袋）	11,500円	経験3年以上	軒の高さが5m以上の木造建築物で、構造部材の組立て、屋根下地、外壁下地、建具枠の取付作業
	2	足場の組立て等	１／３０～３１（火水）技術研修センター（池袋） **※2015年7月以降の経験は特別教育修了証の添付が必要です**	11,500円	18歳以降の経験3年以上	つり足場、または高さ5m以上の構造の足場の組立・解体・変更の作業
	3	型枠支保工	次回　次年度開催予定			ｺﾝｸﾘ打設に用いる型枠支保工の組立・解体作業
	4	鉄骨の組立て等	次回　次年度開催予定			高さ5m以上の鉄骨の組立て・解体の作業
	5	コンクリート解体	次回　次年度開催予定			高さ5m以上のコンクリート造の工作物の解体・破壊
	7	地山掘削・土止め	次回　次年度開催予定			高さ2m以上の地山掘削と土止め支保工組立て作業
	8	有機溶剤	２／２１～２２（水木）技術研修センター（池袋）	11,500円	18歳以上	有機溶剤指定物質のほか、塗料・シンナーに含有のｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝや塗料剥離剤のｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ等を扱う作業
	9	石　綿	３／６～７（水木）技術研修センター（池袋） ※受付期間：2/2（金）12時まで　※抽選日：2/9（金）	11,500円	18歳以上	建築物の解体・改修で石綿が含まれる建材を除去する作業
	10	酸欠・硫化水素	２／２７～２９（火水木）技術研修センター（池袋）	19,500円	18歳以上	暗渠・マンホール・槽・ピットなど酸素欠乏症や硫化水素中毒にかかるおそれのある場所での作業
	50	特定化学物質	１／２５～２６（木金）技術研修センター（池袋）	11,500円	18歳以上	防水材などに含まれる特定化学物質を扱う作業。2021年4月より「溶接ヒューム」も特定化学物質に追加され、アーク溶接をする作業所でも特定化学物質主任者を選出することが必要となります。
職長	14	職長・安全衛生責任者教育（リスクアセスメント含む）	① １２／１９～２０（火水）技術研修センター（池袋） ② １／２３～２４（火水）技術研修センター（池袋）	14,500円	20歳以上が相応しい	常時現場で直接指揮監督する「職長」と、元請との間で仕事の連絡・調整する「安全衛生責任者」となる方への教育。リスクアセスメント教育も実施します
	17	職長・安全衛生責任者能力向上教育	２／２７（火）技術研修センター（池袋）	8,500円	職長・安全衛生責任者教育(RA含)修了者 **※修了証添付**	国の新たな指針が示され、おおむね5年毎に受講が望ましいとされています
特別教育など	15	足場能力向上教育	次回　次年度開催予定		作業主任者修了者はおおむね5年毎受講が望ましいとされています	
	44	新入職者教育	次回　次年度開催予定			事業所が行う法定の「雇い入れ時教育」の一部を実施
	43	足場特別教育	３／５（火）技術研修センター（池袋）	7,500円	18歳以上	足場組立て・解体・変更の作業に必要。脚立足場・可搬式作業台の連結・ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ等も足場扱いになります
	19	低圧電気	次回　次年度開催予定		18歳以上	電動工具で使う仮設電源の開閉器の操作に必要な教育
	57	巻上げ機	次回　次年度開催予定		18歳以上	動力により駆動される巻上げ機（ウインチ）の運転
	48	ロープ高所作業	次回　次年度開催予定		18歳以上	ビル外装清掃・法面・屋根・板金工事などでのロープ作業
	16	石綿特別教育	２／６（火）技術研修センター（池袋）	4,500円	18歳以上	石綿が使用されている建築物等の解体・リフォームの作業に従事する労働者は、作業前に受講が必要
	21	自由研削砥石	２／７（水）技術研修センター（池袋）	8,000円	18歳以上	グラインダ（自由研削砥石）運転、砥石取替作業に必要
	22	丸のこ	２／８（木）技術研修センター（池袋）	5,000円	18歳以上	丸のこは使用頻度が高く、事故も多発し重症となる例も多いため、正しい知識を基本から学びます
	23	熱中症	２／８（木）技術研修センター（池袋）	3,500円		熱中症は建設現場で多く発生しており、早めの対策が必要なことから、予防教育を行ないます
	24	丸のこ・熱中症セットコース	２／８（木）技術研修センター（池袋）	8,000円	18歳以上	多くの組合員に必要とされる「丸のこ」「熱中症」の2つの特別教育を同時に取得できる、セット割引コース
	25	電動工具安全取扱セットコース	２／７～８（水木）技術研修センター（池袋）	14,500円	18歳以上	「自由研削砥石」「丸のこ」「熱中症」特別教育3つセットの割引コース
	56	石綿・電動工具セットコース	２／６～８（火水木）技術研修センター（池袋）	17,500円	18歳以上	「石綿」「自由研削砥石」「丸のこ」「熱中症」特別教育4つセット割引コース。改修工事は石綿も必要となります
溶接	27	ガス溶接技能講習	１／２６～２７（金土）多摩職業能力開発センター（立川市）	16,500円	18歳以上	可燃性ガスを使用する溶接・溶断の作業に必要
	28	アーク溶接特別教育	１／１８～２０（木金土） 城東職業能力開発センター（足立区綾瀬）　変更	19,500円	18歳以上	アーク溶接作業は作業前に受講が必要
建設機械	11	玉　掛	２／８～１０（木金土） 1・2日目：技術研修センター（池袋）、3日目：足立支部会館（東武ｽｶｲﾂﾘｰﾗｲﾝ梅島駅近く）	22,000円	18歳以上	（☆☆☆　組合主催　☆☆☆） つり上げ荷重1t以上のクレーン等の玉掛
	12	小型移動式クレーン	２／１～３（木金土） 1・2日目：技術研修センター（池袋）、3日目：西多摩支部会館（羽村市）（青梅線小作駅近く）	33,000円	18歳以上	（☆☆☆　組合主催　☆☆☆） つり上げ荷重5t未満の移動式クレーン運転
	13-2	車両系建設機械（整地等）技能講習	３／８～９（金土）　※自動車運転免許・特別教育修了証コピー添付 1日目：技術研修ｾﾝﾀｰ（池袋）、2日目西多摩支部会館（青梅線小作駅近く）	38,000円	小型車両系特別教育修了者かつ経験3ケ月かつ自動車運転免許証所持者（※コピー添付）	整地・運搬・積込・掘削用機械の運転
	80	車両系建設機械（解体）技能講習	３／１０（日）　※整地技能講習修了証コピー添付 西多摩支部会館（青梅線小作駅近く）	22,000円	整地技能講習修了者	ブレーカー、鉄骨切断具、コンクリート圧砕具及び解体用つかみ具をアタッチメントとして装備するもの
	79	車両系建設機械（整地＋解体）技能講習	３／８～１０（金土日）　※整地技能講習の受講要件を満たしている事 1日目：技術研修ｾﾝﾀｰ（池袋）、2・3日目西多摩支部会館（青梅線小作駅近く）	58,000円	（整地等）・（解体）技能講習セット割引コース。整地が不合格になった場合、解体の受講資格がなくなるので整地単独の受講料金になります	
他		住宅ﾘﾌｫｰﾑｴｷｽﾊﾟｰﾄ（増改築相談員）　新規	２／２０（火）技術研修センター（池袋）	30,000円	新築・リフォーム経験5年以上※今年から要件変更	※ﾘﾌｫｰﾑｾﾝﾀｰへの登録料込み
		更新	新規は9時～、更新は午後2時15分～（2023年3月未更新の方も）	20,000円	2024年3月更新または2023年3月未更新者	
PC	40	JW-CAD習得	１／１１（木）、１７（水）、２５（木） ２／１（木）、８（木）、１５（木）、２２（木） ３／７（木）　【計8日間の開催】　＊定員15名 会場：技術研修ｾﾝﾀｰ（池袋）　9時30分～16時30分	56,000円	パソコン基本操作ができる方	ﾌﾘｰｿﾌﾄを使い、CAD初心者でも基本から平面・立面図までじっくり学習します。 ＊開催最低人数（6名）に満たない場合は中止にすることがあります。
建築士講習（NPO東京土建ATEC）						
専用		建築士定期講習	① １／３１（水）技術研修センター（池袋）　② ２／９（金）けんせつプラザ神奈川（東神奈川）	10,000円		3年度ごとに受講義務
		管理建築士講習	次回　次年度開催予定	12,000円		管理建築士になる方
一般建築物石綿含有建材調査者講習（主催：一般財団法人 日本環境衛生センター）						
専用		一般建築物石綿含有建材調査者講習	２／６～７（火水）けんせつプラザ東京（東京土建本部会館） ※受付期間：12/19（火）12時まで　※抽選日：12/27（水） **※石綿作業主任者技能講習修了証コピー添付**	48,000円	石綿作業主任者技能講習修了者	2022年4月より一定規模以上の建築物の解体改修工事をするときに石綿含有物の事前調査・報告が義務化。2023年10月1日着工の工事から調査者の資格が必要になりました。

青年部員への「青年部チャレンジ助成金」を活用しましょう。特別教育も対象(新入職者は従事者教育修了に限る)。外部講習は組合員に限る。講座は80%以上出席が修了条件。

◆新型コロナウイルスの感染状況などよって中止とする場合がありますのでご理解ください◆

→９・石綿作業主任者は抽選・締切が異なります。受講希望者はお早めに。

職業訓練法人東京土建技術研修センター主催。申込は支部事務所へ、受講申請書・受講料・認印・顔写真1枚（30㎜×25㎜・パソコン講習は不要）を持参します。※締切は２週間前（締切後の申し込みはできません。）※遅刻厳禁。また、技術研修センターには駐車場がありませんので、車での出席はお控え下さい。※キャンセルは、事前に連絡いただければ全額返金します。※雇用保険助成金は事前申請が必要になったため、申込前に支部へ相談をお願いします。

群会議の話題

ご一読ください

東京土建小平東村山支部　187-0042　小平市仲町381
TEL.042-342-2846　FAX.042-342-2848

今月のコレは重要！

１面だけは、伝えよう！

★実増へ向けた年末仲間づくり
★こだひが会２０２４
★事業主は注目！働き方改革セミナー

年間実増へラスト１か月！

年間実増を目指して年末（11月～12月）の仲間づくりに取り組んでいます。

ラスト1か月、実増に手が届くところまできています。

あなたの周りで東京土建に興味を持っている仲間はいませんか？ご紹介できる仲間がいましたら、群長さんまでお伝え下さい。

★数は力！なぜ仲間づくりをするのか？★

東京土建は主に春（4～5月）と秋（9～10月）に仲間づくり（組合員を増やす）の取り組みをしています。

東京土建は数を力に、未来ある建設産業へ向けて諸要求実現を掲げ、前進を勝ち取ってきた組合であり「仲間づくり」は欠かすことのできない活動です。新型コロナ禍の中で、相談業務を取り組み、多くの仲間の仕事と暮らしを守ることができたのも、仲間との助け合いがあったからなのです。仲間がいなければ、そうした活動を旺盛に行うことも難しくなります。

多くの仲間が集まり、支え合い、より良い建設産業への発展を目指すために、取り組みへ協力をお願いします！

こだひが会2024開催

未来ある建設産業を目指して！後継者世代の仲間で集まり、仕事などの交流・親睦を深めましょう。過去5回開催され、多くの仲間が参加し、仕事や趣味のつながりが生まれています。ぜひ、ご参加下さい！

【と　き】2月3日（土）20時～22時
【ところ】東村山サンパルネ
【対　象】54歳までの組合員
【参加費】2,500円
【定　員】50名（先着順です）
※詳細はチラシをご確認下さい。

働き方改革セミナー

2024年から建設業の法規制が始まります。

建設業は「土曜日就労」が多い為、週40時間労働の枠を超えやすく、このままでは高額な残業代が発生する恐れがあります。

参加した仲間からも「わかりやすい」と好評のセミナーです。参加希望の方は支部までお問合せ下さい。※1月は支部会場に高田社労士が来ますので、会場参加がオススメです。

	日程	テーマ
第3回	12月12日(火)	建設業の労働時間管理
第4回	12月18日(月)	建設業の時間外労働と36協定
第5回	1月24日(水)	建設業の残業代とこれからの給与制度
第6回	1月29日(月)	中小建設事業者への労働基準監督署調査

※会場は支部事務所もしくはオンラインでの参加が可能です

現在の情勢

《税金の使い道を改めろ！　増税で私たちの生活は成り立たない》

世論調査で岸田内閣の支持率が2ヵ月連続で下がり続け、報道各社の調査では軒並み「危険水域」とも言われる20%台となっています。

この間、岸田首相が所得税減税や物価高騰対策、賃上げ継続を掲げ経済対策を打ち出し、肝いりで進めている1人当たり4万円の所得税・住民税の定額減税について、鈴木財務大臣は「過去の税収増分は、すでに使用済み。減税をするとなると国債の発行をしなければならない」と発言、原資すら無くチグハグな経済対策を露呈した。

今秋の解散後に岸田首相が企む「増税・負担増リスト」一覧

項目	内容	開始日
生前贈与	加算期間延長	24年1月
高齢者（75歳以上）の介護保険	自己負担額増加	24年内
後期高齢者医療保険	保険料上限引き上げ	24~25年内
結婚子育て資金の一括贈与	非課税枠廃止	25年3月
所得税	税額上乗せ	25年以降
法人税	税額上乗せ	25年以降
たばこ税	増税	25年以降
復興特別所得税	課税期間延長	25年以降
教育資金の一括贈与	非課税枠廃止	26年3月
国民年金	加入年齢引き上げ	26年以降
退職金	非課税枠縮小	26年以降
通勤手当	非課税枠縮小	26年以降
配偶者控除	廃止	26年以降
扶養控除	廃止	26年以降
生命保険料	控除見直し	26年以降
健康保険料	保険料上乗せ	26年以降
消費税	増税	26年以降
厚生年金	支給減額	26年以降

※一部検討中のものも含む。

さらには、大阪万博「日本館837億円」「シャトルバス整備1600億円」と湯水のように私たちの血税をつぎ込み、大阪万博費用は軽く5000億円を超える勢いです。

国民からは経済対策を「期待しない」66%（FNN)、「減税のあとの増税が恐ろしい」との声が高まっており、予定されている増税で、本当に私たちの生活は成り立たなくなります。

11月、時事通信の世論調査で消費税減税の賛否を尋ねたところ、「賛成」57.7%、「反対」22.3%、「どちらとも言えない・分からない」20.0%でした。

消費税減税を求める声は大きくなっています。選挙へ行って、庶民いじめの政策を続ける政権与党を退陣に追い込みましょう。

事務所の平日休業

◆１月書記局会議　12月22日（金）
終日事務所を閉めさせていただきます。午後からは職員中心に電話対応させていただきます。

事務所の年末年始休業

12月29日（金）～１月４日（木）
７日間事務所を閉めさせていただきます。ご不便をお掛けしますが、ご了承いただけますようお願い致します。

無料法律相談

日時…12月20日（水）13時30分～
場所…支部事務所　※電話で要事前予約です。

本部無料経営相談

日時…12月18日（月）
　　　１月24日（水）10時～
会場…東京土建本部　※電話で要事前予約です。

駅頭宣伝行動

◆消費税駅宣　久米川駅　12月18日（月）16時～17時
◆憲法駅宣　小平駅　１月９日（火）12時～13時

今月の配付資料

◆群会議の話題※本紙・・・・・・・全数
◆小平東村山・・・・・・・・・・全数
◆分会新聞※該当分会のみ・・・・全数
◆東京土建国保カレンダー・・・・全数
◆地域センターの存続を求める署名・・・全数

◆持続可能な建設業へ１００万人署名・・群５枚
◆オスプレイ飛行中止を求める署名・・・群５枚
◆こだひが会２０２４　チラシ・・・・群５枚
◆本部けんせつ10日号・・・・・・・群３枚
◆都民への物価高騰対策署名・・・・・群３枚
◆多摩北B青年部スキーツアー　チラシ・群３枚

年間実増に挑戦中！

目指せ！2024年1月1日組織数

2966

名以上

お仲間をご紹介下さい！

支部からのお知らせ

組合費の納入方法が変わります

これまで群会議の場で、現金にて組合費・国保料の集金を行ってきましたが、事務負担が大きい、一か所に現金が集まる危険性など、担当役員の負担軽減と防犯対策から納入方法の検討をすすめてきました。

来春頃（予定）から現金での納入は廃止し、群会議の場にて、コンビニで支払い可能な払込用紙を手渡す方法に変わります。

また、組合の情報を共有する時間を作ります。10分程度の短時間での開催を予定しています。ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

【組合費と土建国保料　納入方法の変更点】

■現在

群会議（毎月15～17日頃）で、現金にて組合費・国保料を支払い

↓

□今後（来春頃を予定）

群会議（毎月15～17日頃）で、コンビニの払込用紙を受け取り、毎月20日までに組合費・国保料をコンビニで支払い

※国保料は非課税の為、収入印紙は不要

確定申告学習会

税理士を講師に招き、確定申告の学習会を開催します。当日参加者は2～3月にかけて開催する支部確定申告相談会の先行予約が可能です。インボイス制度によって、今回から消費税の申告が必要になる方が多くいます。もともと免税事業者であった場合は「2割特例」の適用が可能です。わからないことや不安なことがある場合は、ぜひご参加ください。

【と　き】1月30日（火）19時～
【ところ】小平東村山支部事務所2階会議室
【講　師】井上税理士
【参加費】無料
【申込み】電話または窓口にて

【緊急】インボイス導入後アンケート

インボイス制度が10月から強行的に導入され、多くの事業者から事務負担と消費税負担の増加についての相談が寄せられています。

全建総連では、インボイス制度が導入された後の影響について、もともと免税事業者であった一人親方を対象に緊急のアンケートを実施します。皆さんの状況を把握し、全建総連として今後の財務省、国税庁などの要請に活用していきます。

ＱＲコードからＷＥＢでの回答が可能です。期限が12月18日（月）17：00までとなっています。インボイス制度を廃止するには皆さんの声が必要不可欠です。ご協力をお願いいたします。

↓回答はコチラ↓

１１月の取り組み

11月5日に住宅デーを9会場で開催、家族を含む172人が参加、全体で579人の来場者を迎えました。包丁研ぎや住宅相談などを行い、市民から感謝の声が寄せられました。

また、11日・12日には東村山市の産業祭、26日には東村山市のエコライフフェアへ参加し、建設業ならではの企画と住宅相談を行いました。

建設国保予算要求集会には17人が参加し財務省をはじめ東京都へ予算要求と物価高騰対策を訴えました。多摩地域９支部主催のＰＦＡＳ水質汚染問題学習会には15人が参加、全体で115人が集まり学習しました。

杉並支部と合同の福島復興支援活動に5人が参加、横田基地にオスプレイはいらない・反対集会には4人が出席し飛行中止を訴えました。11日から2日間で開かれた石綿作業主任者には19人が受講、12日のみその診療所の集団健診には79人が受診しました。交流会関係では、けやきの会の親睦旅行へは31人、主婦の会企画の親子木工教室には14人が参加しました。